

授 業 科 目 名	保育実習Ⅱ	教 員 名	田川 一希 山下 愛実	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	必修
					こども音楽療育士	
授 業 形 態	演習	担当形態	複数	卒 業 要 件	中高英語コース	
科 目 番 号	JIS402	配当年次	4年前期		小幼コース	選択
単 位 数	2単位				幼保コース	必修
科 目	実習に関する科目					
各科目に含める 必 要 事 項						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育実習					
一 般 目 標	<p>保育の現場において学内で学んだ保育の知識や技術を生かして、子どもと直接関わる中で、子ども理解や実習施設への理解を深め、保育の実際を体験的に学習する。保育に参加し、実習する保育所の保育の目標、保育所の一日の流れや乳幼児の発達過程を理解する。そして、養護と教育が一体となって展開される保育内容や、保育の計画や方法、観察・記録等について具体的に学ぶ。また、専門職としての保育士の役割と職業倫理について理解する。</p>					
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。</li> <li>2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。</li> <li>3. 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に理解する。</li> <li>4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。</li> <li>5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結び付けて理解する。</li> <li>6. 実習における自己の課題を明確化する。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている」「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている」「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている」を育成する科目として配置している。</p>					
授 業 の 概 要	<p>4年前期終了後、学外の保育所に通い、約2週間実習を行う。実習内容は参加実習、部分実習、責任実習とする。保育現場で子どもや保育士の姿に触れ、観察やかかわりを通して保育所で行われている事業全体を学ぶ。また、<b>アクティブラーニングとして</b>、実習に臨むにあたっての自己課題に基づき、自ら問いをもって意識的に実習に取り組むことに加え、実習記録を作成し、保育者との対話を通して、自身の子どもへの関わり方や保育者の援助の見方・考え方を捉える力を養い、主体的に学びを深める。</p>					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	<p>保育実習Ⅱを実施するためには、実習実施条件（成績状況等）を満たさなければならない。</p>					
授 業 計 画	<p>主に、参加実習、部分実習、責任実習とする。約2週間の実習を通して、下記の事柄について学び、習得していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイリープログラムを把握し、保育全般に積極的に参加する。</li> <li>・保育士の職務を理解し、保育技術を習得する。</li> <li>・子どもの個人差に応じた対応の実際を学び、発達の違いに応じた援助の方法を習得する。</li> <li>・特別な配慮を要する子どもへの理解を深め、その対応について学ぶ。</li> <li>・指導計画を立案し、実践する。</li> <li>・園児の家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。</li> <li>・子育て支援のニーズを理解し、地域における保育所の役割について学ぶ。</li> <li>・地域の社会資源との連携について学ぶ。</li> </ul>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの最善の利益への配慮について学ぶ。</li> <li>・保育所保育士としての職業倫理を理解する。</li> <li>・保育士に必要な資質について理解する。</li> <li>・実習を総括し、実習を通して得た問題や課題を確認し、課題を実現させていく具体的方法を考える。</li> </ul>
学生に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設による評価を100%とする。</li> <li>・60%以上を合格とする。</li> </ul>
時間外の学習について	毎日の実習の振り返りを実習日誌に記述し、実習施設に提出する。また、実習施設より課された課題を期日までに仕上げる。
教材にかかわる情報	<p>参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館  『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府 フレーベル館  『保育指導案大百科事典』</p> <p>参考資料等：授業での配布資料</p>
担当者からのメッセージ	大学での最後の実習となるため、将来を見据えた実習にしてほしい。社会人として、保育者としての資質・態度を身に付けてほしい。
オフィスアワー	<p>田川一希：講義時間以外の空きコマ（必ずアポイントメントを取る）</p> <p>山下愛実：講義時間以外の空きコマ（必ずアポイントメントを取る）</p>
備考	